

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	温熱感小委員会	主 査 名：永村一雄 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会	委員長名：佐土原 聡 主 査 名：宿谷 昌則
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの温熱環境に関する研究を踏まえ、今後の展望と探求 ・最新研究のレビュー、シンポジウムの企画・開催と適切な情報発信 ・学術規準の企画・作成 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	主査：永村一雄(大阪市立大学) 幹事：山岸明浩(信州大学), 齋藤輝幸(名古屋大学) 委員：梶井宏修(近畿大学), 久野 覚(名古屋大学), 松原斎樹(京都府立大学), 深井一夫(横浜国立大学), 田辺新一(早稲田大学), 室 恵子(足利工業大学), 土川忠浩(兵庫県立大学), 横山真太郎(北海道大学), 都築和代(産業技術総合研究所), 宮本征一(摂南大学), 高田 暁(神戸大学), 三上功生(日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	温熱感規準 WG：温熱感の学術規準の策定と出版、情報発信 WG：本領域に関連する適切な話題の情報発信、サーマルマネキン・人体モデル WG：サーマルマネキンと人体の熱系モデルに関する最新研究の発展促進、温熱中性域・快適域検討 WG：中性域の把握と領域特性の解明	
2012 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. なし
講習会	1. なし 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 温熱心理・生理測定法学術規準シンポジウム(2/27) 2. 温熱環境評価における近年の着衣の取り扱いと今後の展開シンポ(2/27)
大会研究集会	1. なし 参加者数 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 温熱心理・生理測定法学術規準シンポジウム開催(2013/2/27) 2. 温熱環境評価における近年の着衣の取り扱いと今後の展開シンポ開催(同上) 3. サーマルマネキン・人体モデル WG にて関連する話題で国際シンポ開催
委員会活動の問題点 ・課題	1. 大学関係の委員多忙のため、委員会開催の日程調整が困難 2. メール審議、T.V.会議の活用を模索 3. 次年度熱シンポジウム内容の検討

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2012 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>目標に対しては、当初予定のシンポジウムを企画実施できており、十分に達成しているが、次年度に担当となる熱シンポの検討が十分に行えなかった点は反省すべき点である。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。